

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
山中千恵・織田暁子		yamanaka@jindai.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
織田 暁子		仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査演習 a	JNAa-160801-2	4人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

小・中学校を対象のマンガ所蔵・利用に関するアンケート調査と、独自に作成した学習マンガデータベースの分析。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

学校図書館における学習マンガ

2. 調査の内容／概要：

小・中学校を対象のマンガ所蔵・利用に関するアンケート調査と、独自に作成した学習マンガデータベースの分析。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

福井市内の国公立小・中学校図書館担当者全て（小学校51校、中学校26校）を対象にアンケート調査を実施した。回収ケースは小学校31ケース、中学校14ケース。そのうち承諾の得られた回答者に対して、インタビュー調査も実施した。またアンケート調査の回答をもとに、内容分析の対象とするマンガを選定した。

4. 主な調査項目：

アンケート調査：学校および図書館の基礎的事項、学校図書館のマンガ所蔵の有無、マンガの種類、アニメ資料の有無、貸出実績など。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

アンケート調査の郵送調査法およびインタビュー調査。およびマンガデータベースや出版された書籍を基にした内容分析

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2016年8月25日付で発送し、郵送調査を実施。承諾を得た1校に対し、10月6日、対象校にてインタビュー調査を実施。調査員数は4名。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

アンケートの回収率は、小学校31/51で60.8%、中学校14/26で53.8%であった。インタビューを実施できた（承諾を得られた）のは1件のみであったが、アンケートは過半数から回答を得られており、データの質は、分析に耐えうるものであったと評価できる。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

アンケート調査は、単純集計および2変数のクロス集計を中心に分析を行った。またアンケート調査をもとに、所蔵されているマンガの一部を対象として、内容分析を行った。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

小中学校の図書館において、マンガ資料がどのように捉えられ、利用されているかを、小中学校で比較することで、図書の購入方法や所蔵状況の違いから利用の在り方も異なっていることがわかった。

10. 報告書刊行の予定と概要：

受講生による分析結果をまとめた報告書が2016年度末に発行された。